

2019年12月19日

各位

旭化成株式会社

旭化成の不織布「ECORISE™」を用いたアート作品『ReBORN』の
【アート解放区 in 代官山ノエル 2019】への出展について

このたび、旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小堀 秀毅、以下「当社」）の不織布「ECORISE™」を用いたアート作品『ReBORN』が、12月21日（土）～22日（日）に代官山 Tenoha で開催される【アート解放区 in 代官山ノエル 2019】※に出展されますのでお知らせします。

【アート解放区 in 代官山ノエル 2019】※：株式会社タグポートによるアーティストに解体前の建物を開放し、アートを制作し展示できる環境を提供するアートプロジェクト

1. 展示タイトル『ReBORN』について

「ReBORN」とは“reborn”と“Regeneration Beyond Our Rust Notion”の頭文字を掛け合わせており、素材が時間の経過により美しく生まれ変わるという概念です。

従来、素材の価値は既定の性能を発揮することによりあり、時間が経ち製品が劣化し性能が低下すると同時に価値も低下すると捉えられてきました。「ReBORN」では、劣化を違う視点から捉え、そこにはまだ見出されていない様々な価値が存在しているだけではなく、新たな価値が生まれる可能性があると考え、劣化を美しく時間が重なったアートとして表現しました。

2. 展示作品について



本作品は、時間の経過による劣化を表現する方法として錆に注目しました。当社の「ECORISE™」に錆を組み合わせることによって、素材が時間の重なりにより美しく生まれ変わるという、ReBORN の概念を、作品を通じて表現しています。

錆をテーマに朽ちる美を追求してきた伊藤 咲穂氏による不織布の錆加工と、藤川 佑介氏による錆の発生から消滅までの過程を表現したプロジェクションマッピングによって、素材にアートとしての新たな価値が見いだされました。

3. 「ECORISE™」について

ECORISE™は植物由来のポリ乳酸（PLA：Poly Lactic Acid）を主原料としており、生分解性が求められる様々なディスプレイ用途で、高い機能性を発揮します。また、熱プレス機で様々な形に成形が可能な特殊グレードもあります。

4. 共創したアーティスト

鏗和紙作家 伊藤 咲穂氏



幼い頃、木の葉の紅葉から、葉が土へ分解されていく現象に高揚感を覚えた彼女は、その後日本の古典や建築、生活様式、伝統工芸に興味を持つ。大学生の頃に出会った富山県の和紙工房で見た和紙そのものの原料（楮）の美しさに取り憑かれ、和紙を研究材料として活動を始める。そこから産まれた鏗和紙は、彼女の幼少期に感じた生死感そのものであった。和紙修行の後、現在は、アーティストとして国内外での展示や活動、和紙を使用した内装やプロダクトの提案を企業と共に手がけている。

ビジュアルアーティスト 藤川 佑介氏



Flash Player の開発プロジェクト参加をきっかけに、VJ や映像制作などの活動を始める。現在は NY やヨーロッパを中心にメディアアート・映像制作・ギャラリーなどの空間デザイン・設計など行いながら、書籍の執筆、デジタルハリウッドの講師やプロジェクトマッピングセミナーなども行い、人材の育成にも取り組んでいる。また、USK として美術館やイベントで、空間演出やプロジェクトマッピングなども手がけている。

5. 展示会スケジュール

日時：2019年12月21日（土）～12月22日（日）11:00～20:00

場所：代官山 Tenoha

イベント詳細：<http://www.tagboat.com/artevent/kaiho-ku/index.php>

以上

【お問い合わせ】

マーケティング&イノベーション本部 イノベーション戦略室 TEL：046-230-4800

広報室 TEL：03-6699-3008